



Tommykaira ZZ II Premium NFT Membership

自動車としては世界初の実車製作や3Dデータの二次利用を可能とした「トミーカイラNFTプロジェクト」をスタートします

NFT鳴門美術館

NFT MUSEUM MANAGEMENT株式会社

© 2022 nftjp.org. All rights reserved.



NFT 鳴門美術館とは

自律分散化されたNFT MUSEUM

世界初のNFT美術館であるNFT鳴門美術館からMUSEUM3.0を全世界の美術館へ提案、実施していきます。今後より多くのMUSEUMが参加し、DAO(分散型自律組織)を作り上げます。

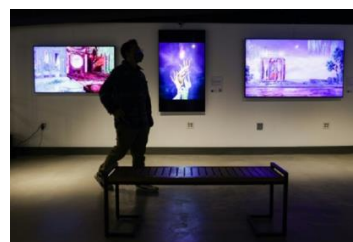
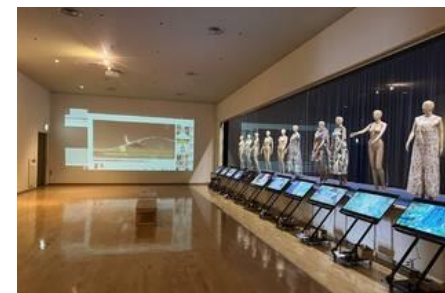
私たちはもう過去にも戻れませんし、未来に行くこともできません、ですが過去を辿った際になぜ現代においてなぜこんなにも同じ過ちやトラブルを繰り返すのでしょうか、それは過去を知り、未来に繋ぐことができなかつたからだと思います。全世界には誰の思想もイデオロギーもない、物も歴史も世界も知ることができます。NFT MUSEUMはそれらを未来に繋ぐ術となります。今後どのような問題やトラブルに直面したとしてもNFT MUSEUMを辿れば様々な諸問題の解決になる場所になることこそ、このプロジェクトの最終目的となります。

名称：一般財団法人NFT鳴門美術館
NFT MUSEUM MANAGEMENT株式会社

住所：徳島県鳴門市撫養町林崎字北殿149

目的：

1. 美術品の保存ならびに公開
2. イベント事業による地域社会への貢献
3. 文化事業の普及
4. 諸外国諸国との文化交流事業
5. 美術文化とデジタル文化に関する融合とNFTに関するすべての業務
6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業



© 2022 nftjp.org. All rights reserved.



TommyKairaとは



トミーカイラ (Tommykaira) とは、京都府に存在した自動車メーカーのトミタ夢工場が製造・販売を行っていたコンプリートカー及びカスタマイズカーのブランド名です。そのブランド名はトミタ夢工場創業者の富田 義一 (とみた よしかず) 社長と解良 喜久雄 (かいら きくお) 副社長の名字を組み合わせたのが由来。

1987年に日産スカイライン (R31) をベースにした日本初の公認コンプリートカー「トミーカイラM30」をリリースしたのち、多くのコンプリートカーを世に送り出してきました。

また、1995年には長年の夢であった完全オリジナルスポーツカー「トミーカイラZZ」を発表。国内12番目の自動車メーカーとなり、同車を206台製造、販売致しました。

その後も精力的にコンプリートカーをリリースし、現在も国内外問わず高い人気を誇っています。



Tommykaira ZZ II Premium NFT Membership

NFT鳴門美術館はTommyKairaとコラボレーションを行い、新しいNFTの形を提供します。



NFT
Naruto
Museum

NFT 鳴門美術館



NFT MUSEUM MANAGEMENT株式会社

Tommykaira Premium NFT Membership 2023年1月リリース

© 2022 nftjp.org. All rights reserved.



NFT
Naruto
Museum

Tommykaira ZZ II Premium NFT Membership 概要

Tommykaira Premium MembershipとはNFT保有ユーザーのみ利用できるTommykaira ZZ II 商業利用権利付きNFT



© 2022 nftjp.org. All rights reserved.

Tommykaira ZZ II Premium NFT Membership Benefit



Tommykaira Premium NFT Membership

販売数：初回100口 最大1,000口

価格：100万円/1NFT

TommyKaira ZZ II NFT保有者は、3Dモデリングを活用して、様々な製品やコンテンツを自由に企画し販売でき、プラモデル、ミニカー、Tシャツプリント、レーシングゲームへの利用、実車製造、グッズ製造、販売など1,000万円までの商業利用であればライセンス料も無料アイデア次第で利用方法は無限大。

Member	Benefit
TommyKaira ZZ II NFT	専用コミュニティ参加会員権
内容物	logoデータ、3Dモデリング使用权
商業利用	～1,000万円まで利用料無料（※）

※商業利用1,000万円超に関しては、超過分に対して12%のライセンス料が発生します

© 2022 nftjp.org. All rights reserved.



活用シーン例



ミニカー、フィギアなどの
製造販売



プラモデルなどの
製造販売



実車両の製造



レーシングゲームへの利用
著作権



映像コンテンツへの利用
著作権



グッズやノベルティの
製造販売